

NEWS RELEASE



報道関係各位

2009年5月16日

一生の思い出づくりに、赤ちゃん 100 人とその家族が参加
「第 23 回 ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式」
～5月16日(土) ピジョン美和の森(茨城県常陸大宮市)にて～

ピジョン株式会社(本社:東京、社長:大越 昭夫)は、親子の一生の思い出づくりと、次世代の子どもたちへの森林保護を目的に、赤ちゃんの誕生を記念して育樹キャンペーンを実施しています。

第23回となる今年も、2008年1月1日から2009年2月28日に生まれた赤ちゃんを対象に募集、全国から抽選で約4000名の赤ちゃんを決定しました。その中から抽選で、地元(常陸大宮市)を含む約100名の赤ちゃんとその家族が参加しました。

9時半から始まった式典には、参加者を代表して、大賀 壮流(オオガ タケル)ちゃん(茨城県常陸大宮市在住・2008年5月18日生まれ)のご家族と、吉田 真尋(ヨシダ マヒロ)ちゃん(東京都豊島区在住・2008年2月3日生まれ)のご家族が記念植樹を行いました。地元の大賀さん家族は、「植えた木が育つように我が子もすくすくと健康に育ててほしい。今後、家族でピジョンの森に訪れるのが楽しみです。」とコメント。また、来賓として参列した三次真一郎 常陸大宮市長は「今回参加した赤ちゃんが大人になった時、思い出の場所であるピジョン美和の森にまた訪れて欲しい。未来を担う子どもたちが健やかに成長することを心より願っています。」と参加した家族を激励しました。



参加者代表: 大賀 壮流(オオガ タケル)ちゃんご家族

参加した家族は随時植樹したほか、しいたけ種駒打ち、やまぶき鉄砲や、西ノ内和紙実演販売などを体験したり、今年から新たに加わった日本野鳥の会の協力により「バードウォッチング体験」「野鳥の紙芝居」に参加、その他、ピジョン美和の森にある「すくすくハウス」では、「育ち応援シューズ体験」コーナー、「森から送る最初の手紙」コーナーなど様々な展示ブースを常設、参加者たちは、それぞれが新緑美しい、ピジョン美和の森の1日を楽しみました。

今後も、ピジョンでは、記念植樹に参加した家族の思い出の場、ホタルの舞う憩いの場、山菜やキノコが採れ、小動物や小鳥も訪れる楽しい場、そして地元の方との交流の場としてこの森を守り続けます。

式典の詳細等は別紙の通りです。

「第23回ピジョン赤ちゃん誕生記念 植樹式」 開催概要

- 日 時 … 2009年5月16日(土) 09:30~16:00
- 場 所 … ピジョン美和の森 茨城県常陸大宮市鷺子(とりのこ)
- 主 催 … ピジョン株式会社
- 後 援 … 常陸大宮市
- 協 力 … 美和木材協同組合
- 実施内容 … 9:30~ 第23回植樹式典 開会挨拶
 主催者/ピジョン株式会社 代表取締役社長 大越 昭夫
 来賓者/常陸大宮市長 三次 真一郎氏、オカリナ奏者 宗次郎氏
 10:00~ 記念植樹(式典参加者)
 大賀 壮流(オオガ タケル)ちゃん(茨城県常陸大宮市在住・2008年5月18日生)
 吉田 真尋(ヨシダ マヒロ)ちゃん(東京都豊島区在住・2008年2月3日生)
 のご家族
 11:30~ 記念植樹(一般参加者)

なお、本日の植樹式に参加されない全国約3900名の赤ちゃんの植樹は6月末頃までに、ピジョンと美和木材協同組合が随時行なう予定です。

「第23回ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」とは？

- スタート年 : 1987年～
- 目的 : 出産・育児の感動や喜びを多くの方と共有するとともに、子どもたちの未来へ残す森づくりと、次世代を担う赤ちゃんのために自然が永続的に守られていくための環境づくりため。
- スローガン : “育児と育樹、心は同じ”
- 植樹地 : 茨城県常陸大宮市「ピジョン美和の森」
- これまで参加した人数 : 約9万人の赤ちゃん
- これまで植樹した苗木 : 9万本
- 植樹地総面積 : 90ha (90万㎡)
- 植樹する苗木 : ナラ・クヌギ・エノキなどの広葉樹の苗木